

2018年11月23日 豊漁丸

【船長】 当たりがあったら、掛けに行く。竿は50号負荷が良い。

【巻き上げ】

ダイワ シーボーグ300J おもり120号のとき

○おもり120号で巻きスピード8。竿は下向き。竿先が水平になる程度に1回シャクリ、待つ。待つ時間はカウント8(1から8まで数える)。この間にラインは1m巻き上がってくる。待っているときに当たりがある。

【低速自動巻き上げ】

○おもり100号 ダイワ シーボーグ300J スピード6

○スピード1でやっていたが当たりがない。もっと速い方が良いのか基考えスピード6でやった。するとダブルで掛かってきた。

【底で釣る】

○おもりを底につけておく。船の上下でおもりが海底をたたかないように糸を出しておく。

○当たりは、ラインの変化で取る。

【イカが掛かったときの回収】

○回収は手持ちで行う。(竿 ; YOIKA BB 7:3)

○ダイワ シーボーグ300J おもり100号でも120号でも、回収スピードは13~14。

2018年9月22日 宝生丸

【船長】

○棚でずっと待っている。小さな当たりを見逃さずに掛けにいっている。

○当たりが遠のき、時々、竿を大きくあおり、仕掛けをフリーフォールさせて待っていた。

○やがて釣れなくなると、低速自動巻き上げで釣っていた。

2018年8月28日 宝生丸

【隣の人】

○隣の人がよく釣っている。低速自動巻きではなく、止めて釣っている。時々竿を振っている。振り方は大きくあおるのではなく、おもりが動くくらいの振り幅だった。しばらくしてもあたりがなければ、「1m巻き上げて振る」を、繰り返している。

【巻き上げ】

○棚で止める。おもりが動くくらいの振り幅で2回誘いを掛ける。カウント8(8まで数える)まで待つ。待っているときに当たってきた。当たらなければ、1m巻き上げる、またはリールを2回巻く。これの繰り返し。

【フォール】

○棚まで一気に落とす。棚の上まで来たら、サミングしながらゆっくり落とす。1mを2~3回に分けてサミングしながらゆっくり落とす。1m落としては待つ。待つ時間はカウント3から5。

○棚まで一気に落とす。上の棚に来たら1m間隔でサミングしながらゆっくり落とす。下の棚まで繰り返す。

○イカを締めていたら船頭さんが来て置き竿にしておいたものを低速自動巻きにした。

シーボーグ300J スピード2 60号おもりが動く一番遅いスピードである。

○シーボーグ300J マイカの回収スピードは15~17がよい。足切れを防ぐために12で巻いたが2回連続でばれていった。少し大きめのマイカやダブル・トリプルの際は引きが強く、足切れを心配した。

【イカパンチか】

○「もぞっ」するなど、イカがついていそうな気配がしたときには、スピード2からゆっくりスピードを上げていった。掛かっているなら、当たりがはっきり出ると考えた。これで何回か釣った。